

## 第6学年 学活 略案

1 日時 令和 年 月 日 ( )

2 学年・組 6年

3 題材名 「みんなが楽しめる活動を考えよう（作ろう）」～「えこひいき」ではなく「公平」に～

4 学習指導要領 特別の教科 道徳

「主として人とのかかわりに関すること」

→自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。

4 本時の目標

- ・様々な子がいることを想定し、みんなが楽しめる活動を考えることができる（作ることができる）
- ・「えこひいき」と「公平」について自分なりの考えを持つことができる。

5 本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点★評価
導入	<p>1 「えこひいき」と「公平」それぞれの言葉を確認する。</p> <p>発問：『「えこひいき」「公平」という言葉を聞いたことがありますか?」 板書する</p> <p>・公平は、みんな一緒</p> <p>・えこひいきは、その人だけ</p>	○野球観戦上のシチュエーションを視覚的に提示し2つの言葉の意味をおさえる。
5分	<p>○ スライドで確認していく</p> <p>えこひいき</p> <p>→特別扱いすること、その人だけ有利にすること、可愛いからカッコいいから可哀そうだからといった見方をしてサービスし過ぎてしまうこと</p>	
展開	<p>公平</p> <p>→みんなが楽しめるように。みんながかたよりなく。みんな同じように扱う</p>	
25分		

## 2 「公平」「えこひいき」ジャッジクイズ

### ① 4年生とのすごろくゲーム

→4年生にはサイコロ2個あげる

### ② 1年生との輪投げあそび

→1年生は距離を近づける

### ③ 2年生と鬼ごっこ

→2年生が鬼をやりたがらないから高学年がずっと鬼

### ④ 3年生との玉入れ

→3年生の玉入れの高さを低くする

○2つの言葉の理解を深め、  
般化できるようにクイズ形式  
で様々な場面で考えられるよ  
うにする。

※「公平」「えこひいき」わか  
れた場合には、それぞれの理  
由を聞く。もし不正解だとし  
てもそれぞれ「理由まで深く  
考えられたね。」「そこまで深  
く考えられたんだね。」等、自  
分なりに考えられた事に価値  
付けをする。

## 「みんなが楽しめる公平な活動を考えよう(作ろう)」

### 3 「縦割り班遊び」での遊びを考えてみよう

縦割り班あそびで1~6年生までが一緒に外で「鬼ごっこ  
系のゲーム」をしようと考えています。みんなが楽しめる  
「公平」にするためのルールや対応を考えましょう。

#### 話し合い

・グループに1枚ワークシートを配布し話し合いながら考える

発問：「1年生と遊ぶ場合、高学年、1年生はどんなことにこ  
まりますか？」

ここでのポイントはみんなが楽しめることです

※6年生(自分達)も含める

#### 発表タイム①

(1年)

「すぐにつかまる」「つかまえられる」「ルールが分からな  
い」等

(6年生)

○実際の場面をイメージでき  
るようにどのような状況にな  
りそうかは全体で行う。

○同じ縦割り班の友達とグル  
ープで話し合うことでこれか  
らの活動に生かせるようにす  
る。

○A3の紙を各班に配り1枚に  
まとめられるようにする。

★様々な子がいることを想定  
し、みんなが楽しめる活動を  
考えることができる(話し合  
い)

※そもそも他の遊びをすれば  
よいという「回避」はねらい  
とズレてしまうため今回は  
「おにごっこ系のあそびで考  
える」ということは伝える。

	<p>「手加減でつまらない」「タッチしても逃げ続ける」「泣かれる」「言う事が分からない」等</p> <p>・「先生なりに考えたいくつか困り感をみてください」</p> <p>スライドで共有する</p> <div data-bbox="225 443 1038 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問：「今出てきた困りそうなことを、工夫したルールや対応を考えてみましょう！」</p> </div> <p>発表タイム②</p> <p>各班、順番に発表する（各班1分）</p> <p>5 「まとめ」はスライドを進めながら話す</p> <p>6 「ふりかえり」ワークシートを記入する</p>	<p>★「えこひいき」と「公平」について自分なりの考えを持つことができる。（ワークシート）</p>
--	---	---

準備するもの：スライド、A3 ワークシート、ふりかえり